明治四十一年十二月廿五日發行
毎月一回二十五日發行

婦人新報

第百三十九號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百三十九號

目次

社説
祝聖誕
行く年
米國兩女史の功勞忘る可からず
スペリー將軍の本會への寄輸
スチーブンソン夫人并にデビス女史を迎ふ
少年部欄
青年部欄
婦風會通信
本部、大阪、前橋、堺
廣告

社告

◎婦人新報定價(郵税共)

一部(前金)	金六錢
六部(前金)	金三十五錢
十二部(前金)	金七十錢

(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字) 金十錢

明治四十一年十二月廿四日印刷
明治四十一年十二月廿五日發行

發行兼印刷人 本多テイ
編輯人 小崎チヨ

發行所 婦人新報社
東京府豊多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地

編輯及事務所 本郷區駒込蓬萊町六番地

No. 139 DECEMBER 1908.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

A Happy, happy Christmas.

An old age.

Great helps of Miss Root and Miss Strout must be remembered.

Welcome for Mrss Stevenson and Miss Davis.

L. T. L. Branch.

Y. Branch.

W. C. T. U. News.

Headquarters, Osaka, Maibashi, Sakai.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum. Single Copy 6sen.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年御進物用

◎聖書研究提要　根岸貢君編
色クロース製美本定價五十錢
紙表紙定價四十錢
郵税各四錢

◎以賽亞講義 上卷　ジヨルジ、アダム、スミス原著　原野彥太郎君譯述
附名士の面影
定價七十錢　郵税八錢

◎馬可傳ときあかし　ジー、ダブルユー、フルトン先生著
定價四十錢　郵税六錢

◎宗教の大復興と北米合衆國　文學士 神學士 松本益吉君譯
定價五十錢　郵税六錢

◎ベツレヘムの厩　富田了山君譯
定價貳十五錢　郵税四錢

◎曉星影　再版增補　三浦泰一郎君著
定價二十五錢　郵税四錢

◎曉天
定價貳十五錢　郵税四錢

◎童蒙基督傳
定價五錢　郵税貳錢

◎ジヨウ、コールの話　丹野フサ子譯
定價貳十錢　郵税四錢

◎英文クリスマス對話集
定價四十錢　郵税四錢

◎常盤演藝集　スカツター先生著
定價四十錢　郵税六錢

◎くりすますのよろこびのおとづれ
定價貳十錢　郵税貳錢

◎本多庸一先生説教集　青山學院教授
定價六十錢　郵税六錢

◎山田寅之助先生説教集　青山學院教授山田寅之助先生著
定價四十五錢　郵税六錢

◎埃及及聖地旅行談　山田寅之助先生著
定價五十錢　郵税八錢

◎羅馬觀光記　山鹿旗之進君譯
定價五十錢　郵税六錢

◎耶蘇基督　山鹿旗之進君譯
定價三十五錢　郵税六錢

◎幸福之生涯　三版　石烏冷泉君著
定價三十五錢　郵税六錢

◎通俗天路歷程　アトキンス氏著　大谷與右譯
定價二十錢　郵税二錢

◎兒童之宗教　トランベル氏著　櫻井成明君譯
定價四十錢　郵税六錢

◎日曜學校教授法
定價三十錢　郵税六錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大宮季貞・海老澤亮兩君共譯
◎日曜學校の原理及理想　紙表紙三十五錢　郵税四錢
布表紙五十錢　郵税六錢

◎美麗表裝 日曜學校之友（第一年五十二冊合本）
定價一 五錢　郵税四錢

◎美麗表裝 小日曜學校之友（第一年五十二冊合本）
定價十錢　郵税四錢

根本正君譯
◎日々の力　定價 布五十錢 紙三十五錢　郵税六錢

根本正君譯
◎貧兒出世美談　定價貳十五錢　郵税六錢

根本正君譯
◎世界最大のもの　定價五錢　郵税貳錢

根本正君著
◎歐米女子立身傳　定價四十錢　郵税八錢

碧川企救男君著
◎野百合　定價貳十五錢　郵税四錢

田中太郎君譯
◎千代の功談　定價貳十錢　郵税四錢

文學士木山熊次郎君譯
◎希望の青年　定價四十五錢　郵税四錢

シェルドン原著
巻山夫人・田中榮子兩女史譯
◎七日間　定價三十五錢　郵税四錢

小畑久五郎先生説教
◎十字架の道　定價貳十錢　郵税四錢

◎キリストの寫眞　定價一枚貳十五錢　郵税貳錢

◎マリヤの寫眞　仝上

◎セントアンゼロの鐘の寫眞　仝上

◎美麗新案 絹製芙蓉枝折　定價十八錢　郵税十枚迄二錢

元陸軍教授黒川正君著
◎教育 日英・日獨 共通會話カルタ　一箱金三十五錢　郵税六錢

家庭幼稚園小學校適用
◎手工科折紙見本及圖解　一箱三十錢　郵税六錢

進成社製
◎顯微寫眞鏡（ミクロフォト）　定價 セルロイド製一個廿五錢　金屬製壹個三十錢　郵税四錢

カード、西洋暦、繪本、萬年筆、西洋書簡用紙、宗教音樂の名畫、レフッ當用日記、教文傳ダイアリー、其他表装優雅なる詩集文集等澤山有之候賣切れざる内早く御注文の程願上候

東京市京橋區銀座四丁目壹番地
電話新橋二五二六番
振替貯金一一三五七
內外書肆 教文館

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百三十九號
(明治四十一年十二月廿五日)

社説

○祝聖誕

生を喜び死を悲しむは人情の自然であらう然しキリスト信徒が死の場合も尚ほ喜ぶのは決して悲しまないのではなく實に復活の榮を信ずるからでありませう年毎に迎ふるクリスマス若きも老たるも均しく暖かい春の樣な氣に云ひ知らぬ樂しみと愉快を覺えます天が下宿るに家なき浮浪の人も門邊に物乞ふ哀れな女子も冴え渡る星影遠く長く響き渡る鐘の音諸々の會堂からもれ來る妙なる調に接しては一種の喜を感じませう人間が喜ぶその瞬間は憂苦も悲哀も慾も名譽も何もない筈だ心の琴線が天來の美に觸れ神の子の心に立ち戻るのでこれ程貴い時はありますまい、理由なしに嬉しい喜ばしいこのクリスマス、二千餘年の昔ユダヤの僻村に人類の犧牲とならむ爲めに生れ給ふた御子の慈愛を紀念し救の惠を新たに享くる今日今宵萬腔の感謝を以て迎へずには居られません樂しいクリスマス、幸多きクリスマス徒に唱へ頌へて無意味に此の感謝の日を私共は送りたくはない、この大祝日に何か學び得たい事がなくてはなりますまい、境遇と心の狀態によりてそれ〲喜の感想を異にいたす事で御座いませうが誰しもキリストの御聖誕を紀念すると共に十字架上の死を偲び從つて復活の希望が惹起つて來りませう愛、犧牲、新生がこの聖誕日の福音でありませう日々の私共の生活に於て此の三ツのものが必要で愛なくして如何して獻身犧牲の働が出來ませう既に他の人の犧牲となり神旨のある處を果してまた罪の身から新たに生れないと云ふ筈は御座いますまいキリストの愛を實現し十字架の昔を喜び絕えず新らたに罪の身を脫して生れ人生の眞理の幾分に達するやうに勤めるのは私共のなすべき義務また聖誕を紀念するよい材料ではありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すまいか罪に死すべき身も悶ゆる魂も此の喜ぶべき祝日に逢ひて初めて希望ある生命に入る事が出來るのであります私共は此に幾度か「天上ところには榮光神にあれ地には平安人には恩澤あれ」と御空に響く天使の頌歌にいてやともに歌ひ合せませう。

○行く年

(年波に我心遠くなりぬ天津御國に)

こは紅顔既に凋みて頭につもる白雪光なく歩は力失せて覺束なきを歎きて歌ひたるさる詩人の末路を語つたものであります、迎へては送り送りては迎ふる年月人生の歴史を築き時代を造り行くこのタイム思ひは片時もあだには費されぬもの私共は年の號を重ねんとするに當りまして無量の感慨に打たれます、行く年を送る人々の心には色々の影が映つる事で御座いませう年波の寄する毎に神に遠かると悲觀して自ら失望の途に踏み入るものも御座いませうしまた年毎に私は神の國に近づきぬと喜ぶ人も御座いませう私は曾つて鐵血宰相ビスマーク公がくれ行く年をはかなんてこんな事を申されたのを讀みました(病疾あるにあらねど我心は疲る不安なる我が生涯の苦悶何者も我には樂しからず寂寞たる生涯妻は逝き子は去りぬ農商業の興味も失せて政事すら心の煩となりぬ)飛ぶ鳥も落す勢なりしビスマーク公の末路何と氣の毒なものでは御坐いませんか之に反して英國のグラットストン宰相は臨終まで絶えず喜悦と勇氣をもて唯だ善事をなす事に務めて居られたと云ふ事であります平常の心懸によりて年末の所感が異なるのでありませう唯だ一事にても善事をいたしましたならば今年の月日は徒らでなかつたのでありませう自分のなすべき務を眞心からいたして居つたならば目に見ゆる成功がなくとも勝利ある年として行く年に分を告ぐる事が出來ませう自らが常に神樣の御旨に從ふキリストの御足跡を辿ふと思つて常に信仰の生涯に居りましたならそれこそ年の經るのを喜ぶ事が出來ませうよしんば過去一年間が無益に過ごしたにしてもまた神樣が新たに進むべき折を與へ給

ふのであるから悔改めて快く古き年に別れる事が出來ませう私は個人として此の年が果して勝利であつたか失敗であつたか玆に申し上る必要は余り認めませんが兎も角も私共團躰として慥かに勝利ある年であつたと確信いたして居ります喜ばしき事は澤山ありました、ストラット女史の來朝を初めとして大坂に於ける大會米國艦隊の歡迎救濟事業の發展數へ來れば隨分澤山御坐います年毎に我が團躰の働は神國の建設期に近づきつゝあるのであります詮ずれば個人々々の進歩發達に基するのでありますから會員諸姉は慥かに喜と感謝と希望を以て四十一年を送られる事で御坐いませう來るべき現在を良用して名々が天國に近づきつゝあるのを喜びたいものであります。

○米國兩女史の功勞沒す可からず

米艦隊一と度來航して、日米の交情は一層其親睦を加へ、人をして不文の同盟を叫ばしむるに至る、兩國の慶事蓋し之れより大なるは莫かる可し、想ふに、此盛擧に由て、福利を致したる事項、其數枚擧に遑あらずと雖も、爰に吾等が帝國の爲に、其功德を永遠に記憶して忘却す可らざる者は、即ち一は、米艦隊の歡迎を機として實施せられたる、我が鐵道列車に禁煙車の設備一件にして、又一は、歡迎會の接伴に、終始藝妓を使用せざりしの一事是れなり。而して前者は、三年前米國婦人矯風會特派員スマート女史が、內外の有志者を代表して、當局者に禁煙車設備の請願に及びたるに原由し。後者は、同女史の後繼者たるストラウト孃が、米艦渡來に先ち、日米の當事者間に奔走し、百方藝妓の使用不可なる事を辯説したるに基因し、遂に今日の光輝ある成功を見るに至りしなり。

吾等は、固より此二大件の實行に好機を與へたる、米艦隊の來航を多とする者なれども、其主動者たる、スマート及びストラウト兩女史の功勞を以て、永遠に記憶す可しと爲す所以の者は、抑も禁煙車の設備たる、其實施の今日より之を見れば、事甚だ容易にして、敢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て稱揚するの價値なきが如しと雖も、若し當時スマート孃にして、毅然當局者に對し、設備の必要を辯論するの熱誠と勇決なからん乎、吾等は遺憾ながら、今日尚ほ我が鐵道列車に、禁煙車の隻影だに見る能はざりしや明かならん。果して然らば、觀光の外客が、吾邦の交通機關の不整頓より、其全豹を揣摩して、侮蔑の結果、我が國民に幾多の不利を與ふるや知る可からず。又藝妓排斥の一事に至りては、其邦家の體面に關係する所、猶ほ一層甚しき者あり。今假りに。日比谷其他の接待所に於て、此等の醜業婦が、例の如く紅裙を飜へし、水夫等の間に出沒し、興を添へ酒を侑むるが如き事あらば、其醜狀の言ふ可からざるは勿論、無辜の青　衫をして、暴飲亂醉の結果、幾多の禍害に陷らしめたるや知る可からず。況んや、日米間の交際上、最も細心を要するの今日に際し、或は不容易の事變を生じたるや、是亦測り難きに於てをや。要するに、此二大件たる、流俗の耳目には、事體餘りに高尚にして、其干繫又餘りに洪遠なるが故に、今日其眞價を覺知する者甚だ稀れなりと雖も、ペリー提督の渡來が、五十餘年の今日、初て日本全國に感謝せられたるが如く、此米國兩女史が隱晦の勞劬も、確かに吾が邦人に永遠紀念せらるゝの期あるや疑ひ勿かるべし。

○關西旅行記

ストラウト

霜枯の空寒き神無月七日と云ふに風間夫人と相携へて支部新設と地方會員諸姉の御手傳にもとの望みをもて長崎指して新橋を旅立ちました、車窓を音づるゝ風は寒くとも四期折々の眺望美はしき東海道の旅、白雪の衣をまとふ富士の峯の珍らしく崇高く芦風の波靜かに琵琶湖初めての旅には凡て物珍らしくて疲も覺えずやがて神戸に着しました、そこでソール、フオレスト兩孃方の厚き待遇に疲れを息め日曜日の午後は神戸女學院生徒諸姉の爲めに一場の演説をいたしました、翌朝早やく岡山市に行く折から大演習と日曜學校大會のあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りし爲め僅かに一つの集會丈にて已みしは殘念で御坐いました紺青の瀨戸内海を右に見てやがて呉に着きそこにて盛んなる集會を開き誓約せられし婦人は十餘、男子の禁酒會設立も間もなく其運になる事で御坐いませう終つて廣島に行く當時大阪の婦人ホームの爲めの音樂會準備中にも不係有益に盛な集會を催されしは偏に釘宮氏の斡旋による事と感謝いたして居ります四つの重かる官公私學校幷に夜學校に於て演說をいたし都度幾多の入會者を得ました次て松山に行く（波間に點々たる島嶼波靜かなりせば如何に眺めのよからんなど思ひしも荒れたるまゝに何も見ず）其處にても非常に歡迎せられ樣々な方面に働かれる方々におめにかゝり六日間滯在いたしました其間に演說をいたしましたのが十六回、高卑に不係松山市とある諸學校にては私共の爲めに門戶を開かれ數知れぬ入會者を得ました、また知事幷に同夫人司宰の赤十字社總會に招聘せられて一塲の演說を試み一同の感謝を受け引きつゞき寺院に於て開かれし市敎育會に別しあふるゝ會衆に禁酒演說をいたしましたそれらの結果として矯風會幷に禁酒會設立の委員が設けられました其翌日の朝とて有力紳士貴婦人に見送られつゝ松山を出發し山口に向ひましたガンドレッド夫人の心からの優待のもとに各公私學校に演說して多くの入會者を得此處にも間もなく支部が設けらるゝのであります此行に於て尤も愉快に感じました事は廣島なる高等師範學校敎頭が親切にも美はしき菓子皿を贈られ且つ數年前に禁酒はせしも喫煙は三十年間續けて居たが今日より斷然禁煙すると申出でられた事であります。

私は不幸にして中途病を得て此行を中止せねばならぬ次第となつたので口惜しくも來春を期して暫時靜養の爲め歸京いたしました然し此の旅行は尤も成功したるものにて三百八十名余の人々が誓約をなされました之れは勿論公會の時のみでしたが誓約書を餘分に持參いたしましたら倍の誓約者を得た事でありませう期は熟し居れり私共は私共の爲めに凡て準備の勞を取り給ひし諸兄姉の功を多とし茲に謹んで赤心よりの謝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禮を申し上ます。

少年部欄

○少年禁酒軍懸賞演說會

守屋東

十一月十四日午後一時半より神田區美士代町靑年會館に於て部長司會のもとに少年禁酒軍の懸賞演說會を開く。

讃美歌二七五番を歌ひ祈禱を以て初め部長は簡單に開會の辭を述ぶ、麴町お噺倶樂部主事謙田白虹君の御厚意によりマンドリン、ハーモニカの合奏あり曲は小學唱歌を接ぎせるものなれば至つておもしろくきかれぬ、次て安藤禁酒會々長は「吾輩は人である」と題して人躰の構造を電話機及寫眞機に例へ其完全なる機能を酒煙草の爲に損ふ事のおろかしき事より禁酒禁煙の必要を說き已に其惡習慣の擒となれるものに勸むる事は、困難にして且容易ならざるも皆さん等の如き可愛らしき熱心なる少年禁酒軍人に禁酒禁煙の必要を說かれなば其父兄は最も容易に此難事をも實行するに至る可く實に此軍隊は必要にして有功なるものなりと結ばる、小崎令孃の獨唱いつもながら上出來母夫人のおしこみもさてこそと愛らしく禁酒の歌をきく。

今日の集まりの中心たる懸賞演說は左の順序によりて執行されぬ。

一大火事　銀座敎會　荒木なみ子
　　　　　番町敎會　中島ふみ子
一夢　　　本郷敎會　內田安久
　　　　　麻布敎會　小町谷健
一老婆の述懐　フラックマンホーム　小山まつ子
　　　　　牛込敎會　都築賢三

いづれおとらぬ熱心なる幼き辯士等は更る〴〵登段して大人も及ばぬまでの勇辯或は能辯只恍惚として其有益なる話をきく。害とは知りつゝも用ゐつゝある人々無邪氣なる此等の演說を聞きては定めし感深かりし事とならん。會集一同にて禁酒のすゝめの歌を唱ふ少年少女のまちかねし鎌田氏のお伽噺は「呑んではいけな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い」……と題して三人兄弟の内酒も煙草も飲まざりし末の子が一番幸福を得たといふ有益にしておもしろき話ありき此時審査委員なる小崎先生は其審査の發表をなすべく登壇せられぬ月桂冠は誰なるらんと場內どよめく其結果は

記憶、發音、音聲、態度

の件々に最高點を採られしは本鄉教會日曜學校生徒內田安久君(十二歲)と報告さる、一同が拍手の內に此名譽ある幼なき辯士の胸間には部長の手よりメタルつけられぬ、次に今日の此集りに勇みて禁酒の主義の許に演說せし辯士には各歷史讀本を賞與します〳〵世のため人の爲神の御名の下に恐る可き害毒を流す惡魔の軍勢と戰ひ、打ち破らんことをつとめ給へとはげます、一同讃美四一九番を歌ひ小崎教師の祝禱を以て閉會す正に午後五時なりき。

此日來會せられしは十四の日曜學校生徒諸子を初め小學校の職員生徒並びに兵士諸君等六百餘名なりき、會集されし人々にはリフレットを配布し日曜學校小學校の職員には少年禁酒軍の規則書を進呈せり、終りに小石川青年婦人矯風會の姉妹が萬事に御手傳下されし事を深く感謝す。

まかれし種の植え出つる例にもれず今日の集り主のゆたかなる御惠の下にまきたる種のいや茂りてよき實の結ばれんことをこそねぎまつる。

少年部長　守屋東

拜啓本年も早や殘り少なになりました、皆樣別に御變りも御座いませんか、扨永らく高橋姉が少年部長を遊ばして御出になりましたが今度御都合があつて御辭職遊ばしました、其後不肖小妹後任として立つ事になりました、何の經驗もなくまた立派な意見も御座いませんが今日まで小妹が少年部といふものにつきよく了解いたしませんでした點を發表して御參考に供しました御質問に應じたいと存じます。

1、少年部は各支部に存在する少年課なり。

2、少年部の働きは少年禁酒軍といふ隊を編成して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一定の規則の下に一定の教科書を用ゐて集會する軍隊なり。

3、少年禁酒軍隊は其隊内に花の課、動物優待課等を置き各支部と同樣に活動するものなり。

4、少年禁酒軍人は少年少女の團體にして赤きリボンを結び徽章とす。

5、矯風會員が婦人新報を講讀し且同新報に報告をなす如く少年禁酒軍人は少年新報（一枚一錢毎日一回發行）を講讀し同新報に報告をなすものとす。

右の樣な順序で編成されたる少年禁酒軍は今の處では日本國中に僅か八ヶ處より御座いません、既に飲酒の弊に陷りし人のみを救ふ事は吾等の勸めではなく雪の如く美はしく一點のけがれにそまぬ少年少女の胸に矯風の主義を染めて他日己に浸されぬ樣にするのが最も大切な事と存じます、如何なる土地に參りましても小供の居らぬところは御座いません其小供は最も危險な場處に立つて居るので御座います、ブース夫人に或人が「どうして貴女のお子供樣方は立派な人格を有つた方ばかりお揃ひになつたのでせう」その問ひに夫人は「私は自分の子供とは思ひません皆神樣からおあづかりして只私は育てゝ居るので御座いますから尊敬して神の御心にそむかぬ樣に教育いたしました」と簡明なる答でした。私共は此夫人の言葉を味ふと一般の小供に接せねばならぬと存じます、どうぞ愛する姉妹方少年禁酒軍の設立を御企て下さいませ。

教科書、規則書、誓約書等は御一報次第に送り申上ます。東京府下千駄ヶ谷町五九八　守屋　東

○スペリー將軍の書翰

十一月廿日頃と覺ゆマニラより一通の大書翰矢島會頭に來る開き見ればスペリー將軍自筆の歡謝狀なりき右は其大要なり。

歡迎の辭に添へて賜はりし美はしき菊花まことに嬉しく心よりの感謝を玆にさゝげ申候貴國幾多の方々より賜はりし眞心こめし賜物の一つとして永々紀念

し且つはいつまでも貴會會員諸君の御友情を忘れ不申茲に一筆感謝の辭として申上候也

アドミラルスペリー

日本婦人矯風會會頭　閣下

○ステーブンソン夫人並にデビス女史を迎ふ

綠濃き頃から待ち望みし兩女史は十二月十九日午後六時横濱に到着いたされました、本部はさる事横濱支部にて　歡迎の準備をさ〳〵怠りなく且つは公會の催しなどもいたさむと何くれとなく準備いたして十八日の入港を遲しと待つて居りました、本部を本表してストラット女史横倉姉は十七日より横濱に出張して一時千歳の思をいたして待つて居りました折から天候穩かならず十八日は朝より北の風烈しく浪は怒りて小舟など木の葉の如くに弄ばされ身を切る風はひし〳〵と迫つて海上の旅路の不安の思をなしてモンゴリヤ號よりの電報を待つて居りましたが其日は無線電信さへもなく荒ぶる波に心殘して埠頭を去りました翌の日風少しくやみたれ岸邊の彳なか〳〵堪へがたくありました横濱支部の諸姉などゝ岸ちかき家に宿りて沖の方のみなつかしく煙もかなと待つて居りましたが今日もまた望みを果さずして都なる歡迎會の事ども思ひ煩はるゝものから午後五時半と云ふに横濱を出でゝ、京に歸りました、口惜しき此度の迎岸邊を去ると間もなくモンゴリヤ號が入港いたしたと翌の日新聞を見た折の殘し惜さ直ちに兩女史を訪ねむとは思ひましたが何處に宿り給ふやも知れざりしかばストラット女史を訪ねて初めて同女史の家に來給ふたと聞きて胸安く思ひました兩女史は、誰の迎にも逢ひ給はずして淋しき到着の後直に上京せられました私は兩女史に逢ひて己が足らざりしを詫びましたがステーブンソン夫人の寬容なるいとしとやかに却而私共の爲めに氣の毒がられました、ステーブンソン、女史デビス兩女史の爲に設けし歡迎會は演說會にて終りましたス夫人は天使の如き柔しきなつかしき方て話される一言にも主義の爲めに熱心の心

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

えほの見て床しくしたはしく存せられますデビス孃はまだうら若き方にて快活なまた沈着な方にて失禮ながらなつかしき方であります又夫人は正月八日サイベリヤ號にて支那に向はれ二週間滯在中に關西に旅行して各支部の爲めに盡力せられ東京の名士を訪問して意見を戰はし、二三日の休養を日光になされて前途に横はれる急務をいそがれんとして居られます折あしく時期の惡しかりし爲め公會を催し女史が誠實なる敎育談をきゝ得ざるは私共凡ての不幸であります然し小なる集會に於て私共が受くるまた受けたる利益に對し玆に萬腔の感謝を捧げますデビス孃には芳紀の身を以て風土異なる國の爲め遙る〳〵來つて吾徒に力となり給ふ孃が美はしき決心と親切に對し何ものゝ言葉を以て感謝いたしてよろしきや知りません

願はくは尚ほ水陸の旅をつゞけ給はむ此の上に其使命をはたして本國に歸り給はん日まで安かに神の守護のもとにあられん事を祈りデビス孃の健全と幷せて事業の實のあがらん事を玆に祈り聊か歡迎の辭と致します

青年部欄

普連土女學校

矯風會報告

昔も今も變り給はざる天父の豊かなる惠の下に當會は誘ひ多き世と戰ひつゝも尚ほ追々盛大に趣けるは會員一同の感謝に堪へざる所なり

會員は皆長幼の區別なく互にその責任を重じて會を助くるの精神を養はん爲め今般從來の慣習を改め會長を初め凡ての委員役員を生徒間より推撰し專ら會の進步を計れり現今會員の數四十九名、會長鈴木元子氏會計大熊豊子氏書記北川愛子其他各課に二三名の委員を擧げて種務をとり行ふ

今年大坂ウヰルミナ女學校に開かれたる大會へは會長鈴木元子氏を代表として出席せり

毎月第三木曜日を期して祈禱會を兼ね事務會を開く出席者平均四十七名當會は一ケ月一回少年禁酒軍懸賞文學會を催し其の第一回を去る十一月十六日に開きたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

當日の競爭者は一年組の生徒九名にして何れも高點にして殆ど審判官をして其の判斷に窮せしめしが僅か一二點を以て其差をなし芹澤茂子氏メタルを得られたり第二回は十二月十日に催されたり當日は本部會長矢島子氏の來席ありてメタルを授與されたり。

神戸青年部報告

我矯風會の役員改選期に當り候へば去る例會の折改選を行ひ申候處すべて再選と相なり申候此段御報告申上候也、役員は左の通りに御座候

會長　鎌原政子　會計　渡邊るい
書記　二十河夙子

矯風會通信

○本部

十二月十九日午後正二時より神田區三崎町バプテスト會館に於て萬國婦人矯風會派遣員スチーブンソン夫人幷に本邦派遣員デビス女史の歡迎を兼ね大演說會を開く新聞記者貴婦人の集會珍らしく多數にて三百余名の出席者ありたり、兩女史をのせたるモンゴリヤ號の延着の爲め歡迎會見合せ直ちに演說會に移つる安部磯雄君の「教育と矯風」の演說ありたり同君の秩序ある熱實なる演說に會衆一同大に益せられ多大の賜物を得て散會せしは午後四時半なりきス等兩女史の歡迎會を中止するに至りたるは已を得ざる事ながら甚だ殘念にてありし

木下道子姉逝く（江戸川）數年本部所屬會員として矯風主義の爲めに充分の盡力を與られし木下道子姉は十一月十七日忽然眠るが如く最愛の御良人一子を殘して父の國に歸らる死生之れ命なれど人情として惜列の情禁ずる能はざるを如何せむ姉は平素强壯にして顏色の惡かりし等は記者の未だ曾つて見ざりし所なり然れども姉は今天の故鄕に永劫の春を喜び給ふ姉が殘されし感化はいつまでも變はらず幸に一天其遺族に惠みし給ふ嗚呼死も生神の賜物吾等は同姉の逝去を痛むと共に天旨の何邊にあるや感謝して其命に従ふを知るは之れまた姉の逝きたる賜物なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○大坂支部

第九回年會報告十二月五日土曜午前九時半より中之島事務所に於て年會を開く、午前司會藤本ます子讃美二百卅八、聖書哥林前十二〇十二開會祈禱に引續き數人の祈禱あり、四百六十二番を以て祈禱會を終へ左の順序に依り年會々議を開く。

一各教會委員點呼
一報告　各課長並に役員
一花の課　緒方千重子
一風俗課　馬場松惠子
一傳道課　森山のぶ子
一母の課　杉田いそ子
一安息日學校課　田中曾登子
一軍人課　名出昱子
一交際課　淺井泰子
一救護課(婦人ホーム)　林依子
一書記 別記　清水種子
一會計 別記　伊東品子
一來賓へ挨拶
京都より富森姉、堺より黒田、宮田兩姉、林會長より挨拶あり綴て所感を述べらる。

大意、先に役員の報告により當矯風會設立以來九年の星霜を經て年々事業に於ても經濟に於ても驚くべき膨脹を來したるにも不係實に不思議なる神の惠みによりホームの如きも聊か社會の益となるのみならず却て矯風會の働きを助くるに至りたるは誠に感謝する所である又我等は世界の義勇軍であるキリスト大將の下に働かねばならぬ故老若とも各々一の働きを持つ事は尤も大切である吾等の社會に對する働きは軍艦一艘の新造に勝るとおもふ日本の仕事は日本人に依りて爲すべし世界の事は世界の人の手を用ふべし火事場の火を防ぐ如く吾等も社會に燃えつゝある罪惡の火を防がんため宜しくキリストの精兵となり各々與へられたる神の武具をとり防ぎ働かねばならぬ口に、手に、足に、皆一つの働らきを以て互に助け神と國家に對する務め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を怠らず勤め勵むべきはお互に爲すべき會員の義務である、次に四百廿二番を唱ひ役員撰擧に移る。

撰擧に先ち補缺副會長を擧げる件につき協議をなす、當春長田姉永眠後臨時總會に於て田口たけ子姉撰ばる姉は再三辭退せらるゝも衆望により未だ決せず以來種々協議をなす結極同姉は現今正當の理由により今暫時重大なる名義を負ひ難しとて辭退せらるゝの止むを得ざる事となれり、同時に一の議案あり從前役員課長委員の外數名の評議員を設けて暫時副會長の責を防がん事の相談ありしが滿場一致の賛成にて可決す故に副會長は暫時除き直に會長、書記、會計を撰擧す。

但し評議員は新撰役員に於て指名撰托す。

投票の結果、四十二票に對する

會長　林　歌子　四十一

書記　清水種子　四十一　齋藤久子　二十一

會計　伊東品子　四　十　松澤ふく子　三十四

右につき從前通り何れも重任せらるゝ事となりたり。

二百四十九番を唱ひ正午の祈禱を以て閉會す。

晝飯兼親睦會

來會者五十餘名へホームの手製おすしの饗應あり。

數日前役員會議に於て例年の辨當代を廢せんと苦心の折柄當地會員在米國福井なつ子及在大連千村すへ子兩姉より思ひがけなく特別寄附金ありしを幸ひに本日は一年中終りの尤もたのしき年會なれば會員方に其愛を分配せんとホームの主姉たちが朝とくより起き心して造られしものなれば一同殊更に味ひ又遠方にある姉妹の同情を感謝しつゝたのしく食事をなせり、此時例により慈愛館のため集金をなす同時に先年水災にて敎會流沒せし福知山敎會より同情を仰がれければ聊かながら本日集金を二分して之を送る事となせり夫より會員互に姓名を名乘り自由親睦をなす。

午後二時再び開會

柳原夫人司會にて讃美祈禱の後役員に對する挨拶を馬場師一同に代り述べらる林會長の答辭ありて課長撰擧の披露あり。

從前課長の任務重く且多忙なるを以て更に一人補助課

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

長を撰びたり。

一傳道課　森山のぶ子　二宮わさ子
一風俗課　馬場松惠子
一母の課　杉田いそ子　古木ため子
一軍人課　柳原たけ子　藤本ます子
一花の課　緒方千重子　藤本ゑい子
一安息日學校課　田中會登子　西野さだ子
一安息日課　名出昱子
一交際課　淺井泰子　大塚常子
一救護課　林依子
一教育課　細合はつ子

會旗授與式

南教會の十人增は比較的進步として授與せらる。

次に樫內晰子姉の感謝會を開き伊東姉より一同に代り歡迎の辭を述べられ數名の熱心なる感謝祈禱ありき。

協議

一評議員設置の件
先に滿場一致の贊成にて可決す。

一ホームの件
昨年に比較して本年は會費の集り多かりしは各委員方の勞を謝する所なり尙殘り四千九百圓の借財處置に對して如何に爲すべきや、來年五月は滿十年期を祝する筈につき之と共に全く借財を支拂ふべき決心を以て一つの考案として下關長安姉に依賴して琵琶劇（博愛社のため廣島に於て演ぜられしもの）を當地になす事之に就き會員一同の充分なる覺悟を以て働き助けられん事を議決す。

一委細役員會に囑託す

一來年度集會の場所
一月、新年會第二土曜　大阪教會
二月、ウイラード孃紀念會　天滿教會
三月、母の會　島の內教會
四月、少年少女大會　靑年會館
五月、地久節　ホーム
六月、花の紀念日　約翰教會
七月、母の會　清水谷女學校

九月、軍人課　東美以教會
十月、祈禱會　南　教會
十二月、年會　事務所
十一、十二月入會者

木村　金喜	泉　千佳	菅　ゆき	西脇　ひろ
野本　良子	星野　多賀	岡部　ひろ	湯川　直
木村　輝子	萩野　こう	長山　まへ	柳原　たけ
丹阪　こと	小川　くに	善積　君抜	津山　たま
淅　つね	池澤　とよ	中島　ちう	稲垣　みつ
ミスミード	佐藤　りん	增穗　たま	町原

〆廿四人

眞崎　鹽澤　橋本　たま

計廿七人

軍人課　名村　いく子

軍人課は不堪廢兵慰問又働きにつき少々資金を與へたるものもあり、十月には兵營内に於て兵士を集め山室中佐の演説を乞ひたり當時の情況先に婦人新報へ掲げらる軍人課に於て取扱ひし金額支出左の如し。

三十八年中　二百十八圓四十錢
三十九年中　四百三十二圓
四十年中　二百十圓三十錢
四十一年中　百十三圓九十錢
四十一年に訪問せし家數二十四軒
合計　九百七十四圓六十錢
殘金　二十五圓四十錢
預けありし利子三十六圓三十錢
合計現在金　六十一圓四十三錢

救護課（ホーム）　林　依子

明治四十一年一月より十一月迄
願に來りし婦人數　三百四十五人
內　周旋せし人數　百七十八人
現在住込居る者　七十四人（內看護婦七人　家庭敎師一人）
國元を無斷に家出し來る者　十一人
歸國さす爲凡てホームの厄介となりし者　一人
衣類を整へ奉公させし者　三人
奉公人を周旋せし家の數　百七十八軒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一月より十一月迄寄宿人數　二十三人
現在十二人　内一等五名　二等七名
ホームの家族　二十四五名を下らず
ホームの友の會費一ヶ月五錢づゝ積立廿六圓三十錢

花の課報告　　　緒方千重子

一月十一日、早川、奥田兩師と同行陸軍衛戍病院入院患者を慰訪す。
一月廿四日、前田氏をパルナパ病院に問ふ。
一月廿五日、長田夫人を堀内病院に訪ふ。
二月廿二日、早川師と同行大坂慈惠病院入院患者を慰問す。
三月三日、高木氏を緒方婦人科病院に問ふ。
四月十三日、太田師と同行大坂醫學校病院學用患者を慰問す。
同日、同病院に成瀨師を問ふ
五月廿七日、蒲原師と同行緒方病院に至りし各病室を廻り慰問なすを謝絶せられ時のこゑ配布を依賴す。
同日同病院に江口師を問ふ。
六月十四日、花の紀念日の集りを終りし後林會頭外十一名の姉妹方と同行陸軍衛戍病院を慰問す。
同日　佐藤氏を問ふ。
六月十八日、林會頭と同行泉州濱寺石神病院入院患者を慰問す。
六月十七日、田中夫人を問ふ。
七月八日、蒲原姉と同行堀内病院並に加古病院入院患者を慰問す。
七月廿五日、藤本蒲原兩姉と同行露橋村木村權右衛門氏を問ふ。
同日、同村岩佐夫人を問ふ。
七月廿九日、木賦川高橋兩家を問ふ。
八月廿六日、有馬に於て當時療養中の大津善通寺等の病兵を成瀨姉と同行慰問す。
九月三日、武田牧師成瀨姉外五名の兄姉と共に同病兵を慰問す。
九月四日、同病兵を當時開會の聖別會に出席の爲同地に滯在せらるゝ青年諸氏と樂器を持參して慰問す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十月十八日、南岡、緒方兩氏を大坂病院に問ふ。

十一月四日、早川姉と同行長春病院及パルナパ病院に入院患者を慰問す。

十二月一日、早川、蒲原兩姉緒方婦人科病院に入院患者を慰問せらる。

慰問せし患者數並に寄贈せし物品數

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
慰問せし患者數	六三	六五	一	六三	一	九七	五四	四〇	五〇	二	九	三五	四七八
寄附せし紫句カード	｜	｜	｜	｜	｜	一五	五四	四〇	九〇	｜	九	一九	三八三
同花束數	｜	｜	｜	一	一	二	四	｜	｜	一	｜	｜	二八
同食品物品	二	六五	一	六二	｜	｜	｜	｜	｜	二	｜	｜	一三二
時のこゑ並に小冊子數	五〇	五〇	一	一〇〇	五〇	九六	五四	四〇	六四	二	九	五〇	五六五
時のこゑ郵送數	｜	｜	｜	｜	｜	五	三	五	五	二五	四	三〇	七七

○大阪支部

四十一年度第十回年會書記報告

明治四十年十二月より同四十一年十一月末に至る

一　現在員　四百五十七人

一　贊助員　四拾五人

合計　五百二人

本年中新入會員數　男子　六人　婦人　壹百〇九人　計　壹百十一人

永眠者　貳名　長田しん子　渡邊たね子

轉出者　壹百十一人

差引減　八名

一　定期集會度數　九回　一、二、三、四、五、六、七、八、

一　公會演說會數　三回　二月、七月、十月、

一　臨時大集會數　四回　大會、音樂會、感謝會、軍人集會、

一　臨時總會數　三回　音樂會のため、支會の爲、賞杯下賜云々の爲、

一　役員會　九回　以上

一　本會設立年月　明治卅二年五月廿八日

一　事務所現在地　北區中之島六丁目六

一　市內教會及講義所數　貳十三ヶ所

一　婦人新報購讀者數　貳百三十冊

一　本部へ通信報告數　拾參回

役員姓名

一　會長　林　歌　子

一　副會長　欠

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一　書記　清水たね子
一　同　齋藤ひさ子
一　會計　伊東しな子
一　同　深澤富久子
一　ホーム主任　林依子
一　ホーム事務員　奥田ふみ子
一　ホームの友會長　小山みつ子

課長姓名

一　傳道課　森山のふ子
一　風俗課　馬場まつえ
一　母の課　松田いそ子
一　軍人課　名川いく子
一　花の課　緒方千重子
一　安息日學校課　田中そと子
一　交際課　淺井やす子
一　安息日課　太田いく子
一　教育課　細合はつ子
一　救護課　林より子

各教會々員數比較表

名稱	現在數	新入增	減	昨年の比較	
大阪教會	五四	一三	四	増	九
浪花教會	一七	三	二	増	一
天滿教會	二三	八	六	増	二
島之内教會	一六	三	〇	増	三
九條教會	一三	〇	九	減	九
東教會	六	一	二	減	一
西教會	三四	六	四	増	二
南教會	二二	一三	三	増	十
北教會	七三	一七	二九	減	一二
川口教會	四八	八	一五	減	七
約翰教會	二三	二	二	ナシ	
保羅教會	一八	三	四	減	一
三一教會	一六	二	三	減	一
救主教會	一一	二	四	減	二
城南教會	一一	二	四	減	二
復活教會	一三	七	一	増	六
東美以教會	二三	七	六	増	一
西美以教會	三三	一	一	ナシ	
東浸禮教會	六	二	〇	増	二
西浸禮教會	一一	五	三	増	二
福主教會	一〇	、	、	、	
下寺町傳道館	一	〇	〇	〇	
安治川講義所	七	〇	七	減	七
賛助員	四五	六	八	減	二

明治四拾一年度大阪基督教婦人矯風會決算報告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

収入總高
一金參千壹百參拾壹圓八十一錢也
内　譯
一金五百〇九圓壹錢也　會費並に雜誌代
一金壹百七拾七圓四拾錢也　大會費並寄附
一金九百拾四圓九拾五錢也　音樂會の收入
一金四拾五圓也　株金但し負債償却ノ高
一金百五十六圓六十錢也　寄附仝
一金貳拾壹圓六十錢也　地代
一金參拾圓六十五錢也　雜收入
一金壹千拾九圓四十二錢也　ホームの收入
一金四拾八圓九十錢也　繰越金
一金八圓卅八錢五厘也　利子
一貳百圓也　臨時借入金
支出總計
一金參千百拾圓貳十七錢五厘
内　譯
一金參拾六圓也　義務金
一金六拾六圓也　本部書記の手當
一金壹千五拾圓也　返金
一金貳百〇七圓廿錢也　利子
一金貳百貳十貳圓八十四錢五厘　大會の費用
一金壹千貳百三拾貳圓貳十四錢　ホーム支出
一金六拾五圓四十一錢　事務費
一金五拾五圓廿六錢五厘　印刷廣告料
一金百廿七圓也　婦人新報代
一金拾七圓五十八錢也　交際費
一金參拾圓七十三錢也　集會費
差引殘金貳拾壹圓五十四錢五厘也
外ニ四千九百五拾圓負債
右之通に御座候也
會計　伊東しな

〇堺支部

富田ちか子夫人堺婦人矯風會々長に當選せられたり天父の祐助新會長と會員一同の上に益々盛ならんとを祈る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十一月十六日午後七時より日本メソヂスト堺教會に於て公開演説會を開く司會者は風俗課々長吉井あや子姉にして讃美歌聖書（哥前、十三朗讀）祈禱の後新會長宮田ちか子夫人を會衆に紹介せられ次に今晩の辯士大阪城南教會牧師藤本氏紹介せられたり氏は矯風の大本源てふ演題を擧けて壇上に立たれたり其要旨は頃日天下觀光客の來訪せらるゝこと夥し幸に多の讃辭をもたらすとは雖も若彼等我國裏面に立ち立らんには如何手に汗するを禁ず能はざるにあらずやと先警告を與へられ道德上第一位に置かるべき男女間淸潔保持の方我國に於ては殆輕視せられ法律は却て公娼の保護さへなすにあらずや當局者。「公娼は密娼防禦策なり」との口實の不當なるを難じ吾等は微力なりと雖も矯風の大本源たるキリストエスの權威を奉戴して男女間の淸潔維持の如き急なる問題につき將た社會の改善すべき諸點に於て輿論を盛になしくるへる獅子の如き惡魔の中にも突進し改善せざれば止ざるの覺悟こそ肝要なれキリストの流し給へる血こそ矯風の本源泉なれ此泉は混々と流れ出てゝ世の改まるまでは止まずキリストの宮潔めに做ひて吾等も常に祈を以て心の宮を潔め以て大能者を權に突進し主の御事業に貢献する所あれと懇々と勸られたり一同新らしき望と勇氣に充讃美歌二百七十五を合唱し感謝の内に閉會す來會者四十餘名。

○前橋支部

吹きすさぶ赤城おろしのいとゞ寒さを强うおぼゆる師走の五日午後一時より此月の例會を教會にて開く例にならひて堀會頭の司會の許に讃美聖書朗讀祈禱に次いて役員改撰を爲す開票の結果は左に

會頭　堀あい姉
副會頭　花崎き代姉
記錄書記　松宮しん子姉
通信書記　正木しげの姉
會計　熊谷せつ姉

なほ續いて各課長の改撰をなす筈なりしが結極そゝ當日の新任役員に各課長の撰定を托す事と爲し終りに松宮信子姉先月の記錄朗讀を花の課報告を平賀くに子姉爲し松宮春子姉の閉會の祈禱を以つて三時頃散會せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年用

吾家の歴史

特製製折皮九拾錢總金巾四拾錢小包各八錢

吾家の歴史は一日を往來、爲したる事、得たる思想、社會の出來事雜事の欵欄に分ち詩歌と、格言と、殊に其日に起りたる歴史上の事實を記載したるは、趣味參考頗ぶる至れりと云ふべし、卷頭に結婚、誕生、永眠等の家眷と其他の便覽を付したり、其用意の周到と注意の綿密なる、蓋し稀に見る處の日記簿なり、

新島善直君著

樂しいクリスマス

定價四十錢 郵税六錢

其目次○特別の贈り物○猿のクリスマス○對話サンタクロース○千代ちやんのクリスマス○對話信○森の中の樂しいクリスマス○蜂と蝶○對話望○花子の白のクリスマス○對話愛○なぜさるかには内地に居ませんか○對話クリスマスの夜○ランプと電氣燈○演劇最後のクリスマス○戰場のクリスマス等新年の贈物としては至極適當なり

ラルネデ博士講述 大宮季貞先生筆錄

新約聖書 保羅之小書簡講解

定價上卷二圓三十五錢下卷一圓二十五錢小包各拾貳錢

保羅の小書簡講解とは加拉太、以弗所、腓立比、哥羅西、帖撒羅尼迦前後、提子多前後、提多 腓利門の十書簡

木村清松君考案 後藤春樹君圖案

聖書研究繪端書

六枚一組 定價三十錢郵税二錢

基督敎に關した繪葉書も少なくないが趣味と實益を兼ね而も信仰の友となり聖書研究に資し傳道の一助となるのは此聖書研究であります▲其の一と二は「聖書名づくし」であつて飽まで平民的に併も面白く知らず識らずの中に舊新兩約書の書名を覺へらるゝ▲其三は「聖地パレスチナの圖」に一昨年木村氏が直接踏査し大に益をしたので其感を分たん爲であります▲其四は「ベツレヘムと其牧者」救主イエスの御誕生地を偲ふ好材料其五は「牧者の星を見し地點」と「ナザレ全景」及び「ゲツセマネの花園」これは主イエスの降誕地、生活地、昇天地とてあります▲其六は「イエスの最後の廿四時間」で木村氏特得の研究になり其時間明確に知り得且つ之を圖にしたもので有數の聖書研究者も「これある哉」と叫んだ缺くべからざる有益なはがきてす左れば新年の贈物として頗る適當のものです

▲小崎弘道先生著 **基督の復活** 定價二十錢 郵税四錢

▲宮川巳作先生著 **保羅の生涯** 定價二十錢 郵税四錢

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 **警醒社書店** （振替貯金口座五五三番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

復刻版 婦人新報 第3回配本〔第13～18巻〕

1985年8月10日 発行

定価 60、000円

発行者 船橋 治
発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433
印刷所 ワールド印刷
製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 013

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA